

2022年5月4日(水)晴れ、暑い。今日はまた、成東駅から周辺の田園地帯を歩いて成東駅前に戻り、更に波切不動と高台にある成東城跡を訪ねる。コースも7.3kmと短く、お目当ては成東城跡くらいだ。



JR 成東駅構内には、駅前広場に珍しく、三つのコース案内板が設定されている。ここから三つのコースが設定されているのだ。



今日はそのうちの一つ、「㊸城跡を訪ねるみち」を歩く(首都圏自然歩道連絡協議会)



千葉県のコース図は、あまりにも簡単なイラストで、地図の役目を果たさない



今日の鉄道最寄り下車駅は、JR 総武線の成東駅 8:50 着。成東線はこの駅が起点



駅から北へ、昨日歩いた毘沙門天への道を左折して、県道成東山武道路に沿って歩く



まずは毘沙門天にお参りして出かけよう



昨日と同じような里山の道を一旦北へ



嶋戸の集落から境川を渡ると今度は方角を変え、南へ集落の道を駅の方へ戻る



集落の境にある庚申塔であるが、珍しく屋根が取り付けられている。信仰が厚いのだろう



往路は田圃の広がる田園であったが、帰路は台地の中を突き抜けて行く



台地を下り、成東城方面に向かって歩く



また田園に出て



駅前に戻り、今度は標高 48mの城址公園に向かう



「成東城跡」応永年間(1394-1427)千葉氏の家臣印東師常により築かれた

享禄3年(1530)千葉勝胤により再興したが、天正18年(1590)秀吉の小田原征伐で落城し、徳川の青山忠成が入城。



僅かに土塁跡が当時を物語っている



「本丸跡」江戸時代に入って青山忠成が知行したが、元和6年(1620)青山氏が岩槻城に移封すると共に廃城となった



城跡から見た成東の町並み、遠方は九十九里浜



城跡公園を下ると、真下に波切不動院がある。

天平年間(729-749)行基が東国巡錫の折、海難除けの不動尊像を刻み堂宇を立て開基した



「成東山不動院長勝寺」元禄の頃、九十九里の漁民が遭難した時、荒波を切るように常夜灯が漁船を導き、無事難を逃れたと伝える。九十九里の漁民の信頼は厚い



不動尊前からは県道を避け、集落の道を辿ると



やがて東池の高い土手が近づくと案内板があり、ここが姫島のゴール



50m程行くと県道に出るから姫島バス停はすぐ。成東駅に帰ることが出来る

[参考タイム]成東駅(8:50)→嶋戸集落境川を渡る(9:50)→成東城址公園(10:45-11:00)→  
波切不動尊(11:08-11:20)→姫島ゴール(12:00) 千葉県の項完歩

本稿を以て、千葉県①から⑳全コースを完歩した。2022年3月6日から2023年9月16日までかかった。



令和5年10月10日 踏破認定証。第480号